

ひろこさんの たのしい にほんご 1 絵カード

リスト・使い方

根本 牧

屋代 瑛子



にほんごの  凡人社

ひろこさんの たのしい にほんご 1 絵カード

リスト・使い方

根本 牧

屋代 瑛子

絵カード リスト

人物－ 1	ひろこさん
人物－ 2	けんくん
人物－ 3	たけしくん
人物－ 4	ひろこさんの おとうさん
人物－ 5	ひろこさんの おかあさん
人物－ 6	ひろこさんの おばあさん
人物－ 7	ひろこさんの よこはまの おばあさん
人物－ 8	トムくん
人物－ 9	トムくんの おとうさん
人物－ 10	トムくんの おかあさん
人物－ 11	トムくんの おじいさん
人物－ 12	トムくんの おばあさん
人物－ 13	たなかせんせい
人物－ 14	えみさん
人物－ 15	しげるくん

場所－ 1	えき
場所－ 2	がっこう
場所－ 3	きょうしつ
場所－ 4	こうえん
場所－ 5	スーパー
場所－ 6	デパート
場所－ 7	はなや
場所－ 8	びょういん

1 課－ 1	「おはようございます」
1 課－ 2	「こんにちは」
1 課－ 3	「こんばんは」
1 課－ 4	「さようなら」
3 課	インドじん にほんじん アメリカじん アラブじん ベトナムじん メキシコじん

4 課	けんくんは 7 さいです。 たけしくんは 13 さいです。 ひろこさんは 9 さいです。 おかあさんは 38 さいです。 おとうさんは 40 さいです。 おばあさんは 62 さいです。
5 課	せんせい
6 課-1 (表)	これは なんですか。
6 課-1 (裏)	かさです。
6 課-2 (表)	これは なんですか。
6 課-2 (裏)	めがねです。
6 課-3 (表)	これは なんですか。
6 課-3 (裏)	ごはんです。
6 課-4 (表)	これは なんですか。
6 課-4 (裏)	いすです。
6 課-5 (表)	これは なんですか。
6 課-5 (裏)	うちです。
6 課-6 (表)	これは なんですか。
6 課-6 (裏)	つくえです。
7 課-1 (表)	これは ひろこさんですか。
7 課-1 (裏)	いいえ、 ひろこさんでは ありません。 えみさんです。
7 課-2 (表)	これは ほんですか。
7 課-2 (裏)	いいえ、 ほんでは ありません。 とけいです。
7 課-3 (表)	これは ねこですか。
7 課-3 (裏)	いいえ、 ねこでは ありません。 いぬです。
8 課-1	「これは なんですか。」
8 課-2	「それは なんですか。」
8 課-3	「あれは なんですか。」
9 課	これは だれの くつですか。 ひろこさん／たけしくん／ おかあさん／おとうさん／けんくんの くつです。
10 課-1	これは なんの みみですか。 ぞう／さるの みみです。
10 課-2	これは なんの みみですか。 ねこ／うまの みみです。

10 課-3	これは なんの みみですか。 いぬ／ぶたの みみです。
10 課-4	ぶた うま いぬ ぞう さる ねこ
11 課	ここは たけしくんの へや／ひろこさんの へや／おばあさんの へや／だいどころ／しょくどう／いま／げんかん／おてあらい／おふろば／にわ／もんです。
12 課-1	「ねこは どこですか。」 「ここです。」
12 課-2	「ねこは どこですか。」 「そこです。」
12 課-3	「ねこは どこですか。」 「あそこです。」
13 課-1	とけい／にんぎょう／ほうし／かさ／めがね／えんぴつは いくらですか。
13 課-2	980 えん／1000 えん／1200 えん／670 えん／750 えん／50 えんです。
16 課	きのうの ごはんは さかなでした。 きょうの ごはんも さかなです。
17 課-1	たちます。
17 課-2	すわります。
17 課-3	あるきます。
17 課-4	はしります。
18 課-1	ひろこさんは 7 じに おきます。
18 課-2	ひろこさんは べんきょうします。
18 課-3	ひろこさんは 2 じはんに そうじします。
18 課-4	ひろこさんは 10 じに ねます。
19 課-1	おかあさんは 6 じに おきます。 ひろこさんは 6 じに おきません。
19 課-2	ひろこさんは 10 じに ねます。 おとうさんと おかあさんは 10 じに ねません。
19 課-3	けんくんは べんきょうします。 トムくんは べんきょうしません。

20課-1	ひろこさんは はを みがきます。
20課-2	ひろこさんは かおを あらいます。
20課-3	ひろこさんは あさごはんを たべます。
20課-4	ひろこさんは さんすうを べんきょうします。
20課-5	ひろこさんは ひるごはんを たべます。
20課-6	ひろこさんは あそびます。
20課-7	ひろこさんは テレビを みます。
20課-8	ひろこさんは ばんごはんを たべます。
21課-1	ひろこさんは へやで あそびます。
21課-2	ねこは トムくんの へやで ねます。
21課-3	おかあさんは スーパーで ぎゅうにゅうを かいます。
21課-4	ひろこさんと けんくんは がっこうで ひるごはんを たべます。おかあさんと おばあさんは うちで ひるごはんを たべます。たけしくんは がっこうで ひるごはんを たべます。おとうさんは びょういんで ひるごはんを たべます。
22課-1	けんくんは ～へ いきます。
22課-2	ひろこさんは ～へ いきます。
22課-3	おばあさんは ～へ いきます。
23課-1	ねこは さかなを たべます。ねこは さかなを たべました。
23課-2	おかあさんは せんたくします。おかあさんは せんたくしました。
23課-3	おばあさんは にわを そうじします。おばあさんは にわを そうじしました。
24課-1	上半身 (ひろこさん けんくん たけしくん おとうさん おかあさん トムくんとおとうさんとおかあさん)
24課-2	足 (ひろこさん けんくん たけしくん おとうさん おかあさん)
24課-3	じどうしゃ
24課-4	バス

24課-5	でんしゃ
24課-6	ひこうき
24課-7	にほん
25課-1	たけしくんは きのう テレビを みました。
25課-2	ひろこさんは きのう テレビを みませんでした。
25課-3	ひろこさんは きのう べんきょうしました。
25課-4	しげるくんは きのう べんきょうしませんでした。
26課-1	ひろこさんの おかあさんは おはしで ごはんを たべます。 トムくんの おかあさんは ナイフと フォークで ごはんを たべます。
26課-2	せんせいは チョークで かきます。 ひろこさんは えんぴ つで かきます。
26課-3	ナイフで りんごを きります。 はさみで かみを きりま す。
27課-1	ひろこさんは ～に てがみを かきます。
27課-2	ひろこさんは ～に でんわを かけます。
28課-1	トムくんの おかあさんは ひろこさんに ～を あげました。 ひろこさんは トムくんの おかあさんに ～を もらいまし た。
28課-2	こねこ ハンカチ あめ ケーキ
29課-1	きいろいじてんしゃ あかいじどうしゃ しろいはな くろい かさ あおいスカート
29課-2	大きいくつ 小さいくつ
29課-3	あたらしくつした ふるいくつした
30課-1	この 犬の あしは 長いです。 この 犬の あしは 長く ないです。 みじかいです。
30課-2	この ケーキは おいしいです。 この ケーキは おいしく ないです。
30課-3	この てつぱうは 高いです。 この てつぱうは 高くない

30課-4

です。 ひくいです。

30課-5

あついです。 あつくないです。

さむいです。 さむくないです。

31課

おんなのこの くつは あかかったですか。 おかあさんの
くつは しろかったですか。 じどうしゃの カーテンは き
いろかったですか。 おとこのこの くつは しろかったですか。 おとこのこ
の ズボンは あおかったですか。 犬の みみは 長かったですか。 おかあさんの かみは 長かったですか。 等。

32課-1

元気なこども

32課-2

しんせつな人

32課-3

しずかなへや

32課-4

きれいな手

33課-1

しんせつでは ありません。

33課-2

しずかでは ありません。

33課-3

きれいでは ありません。

34課-1

ひろこさんは べんきょう／田中先生／ねこ／えみさん／すい
か／ケーキが すきです。

34課-2

ひろこさんは へび／ちゅうしゃ／おちゃ／てつぼうが すき
では ありません。 きらいです。

35課-1

えみさんは うたが じょうずです。

35課-2

しげるくんは うたが じょうずでは ありません。

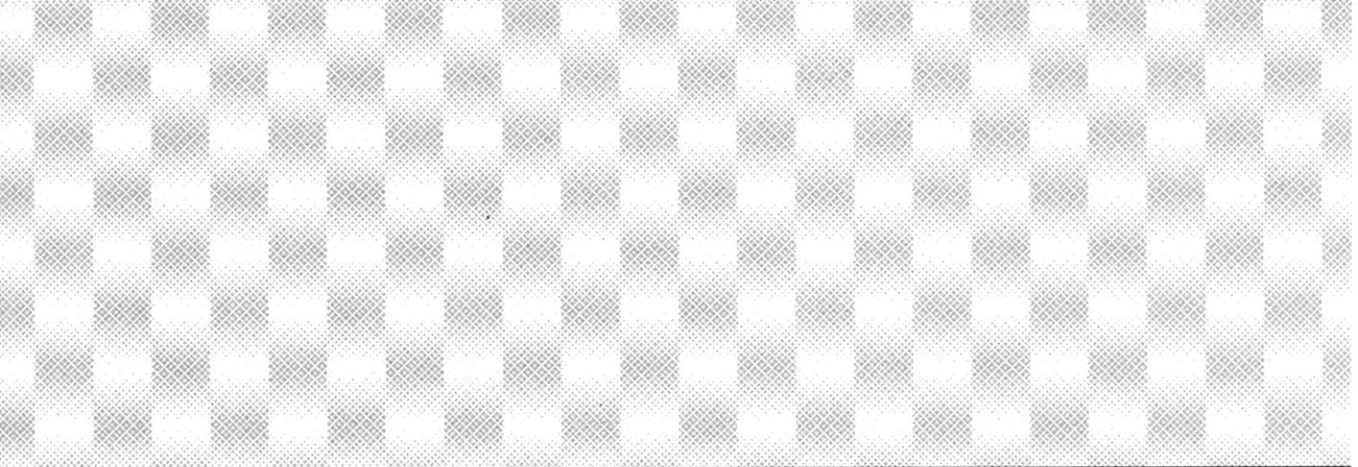
36課

お母さんは だいどころに います。 お父さんは いまに
います。 おばあさんは へやに います。 けんくんと トム
くんは にわに います。 ねこは おばあさんの へやに
います。 ひろこさんは いません。 テレビは いまに あり
ます。 でんわは しょくどうに あります。 とけいは しょ
くどうに あります。 じてんしゃは にわに あります。

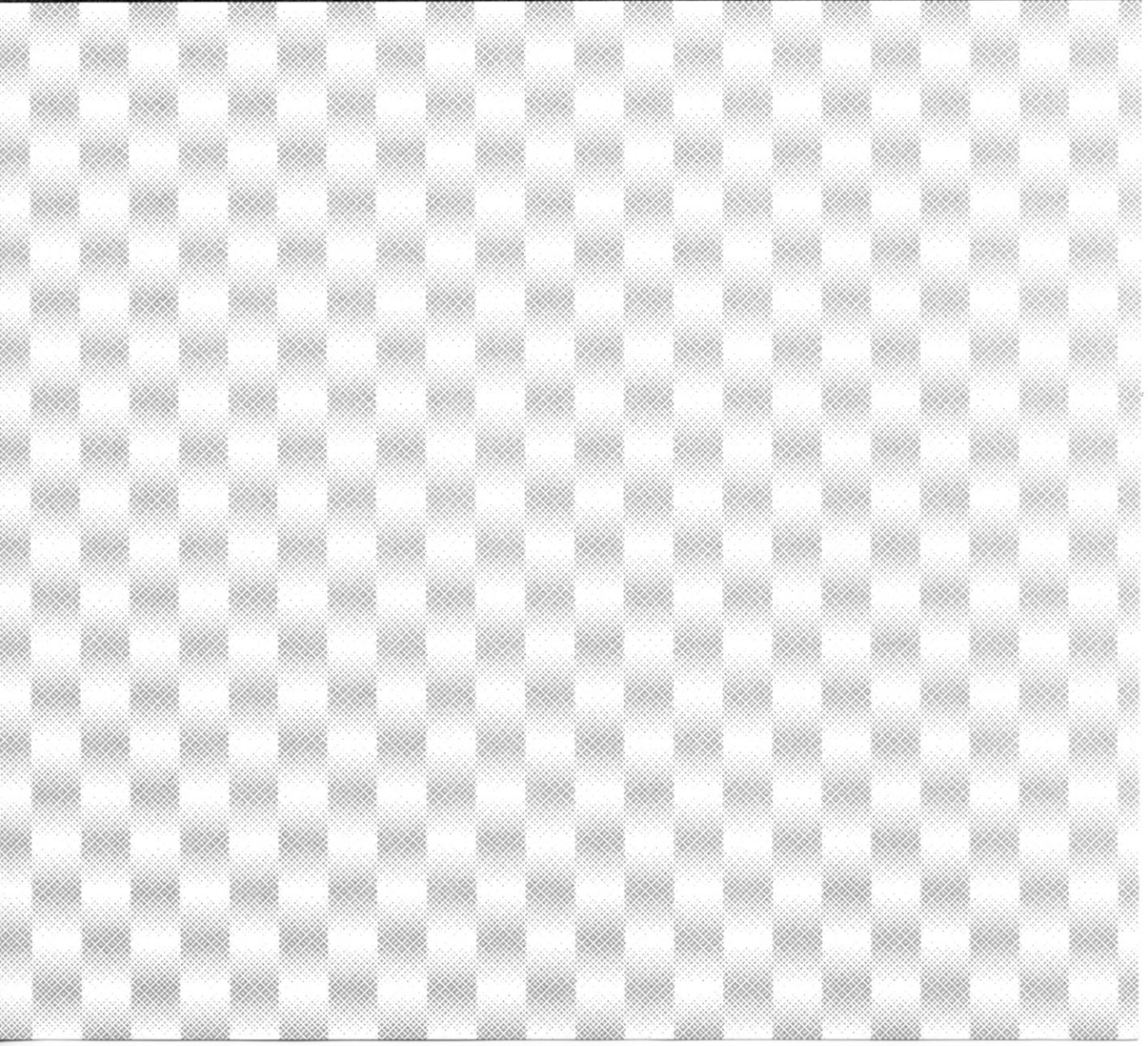
37課	めがねは どこに ありますか。テレビの 上に あります。 ナイフは どこに ありますか。はこの 中に あります。 とけいは どこに ありますか。本の 下に あります。かぎは どこに ありますか。でんわの 前に あります。えんぴつは どこに ありますか。でんわの 後ろに あります。
38課-1	けんくんの かさと トムくんの かさと どちらが 大きい ですか。
38課-2	けんくんと トムくんと どちらが おもいですか。
38課-3	ねこと 犬と どちらが はやいですか。
38課-4	ひろこさんの 本と しげるくんの 本と どちらが 多いで すか。
38課-5	くだものの 中で 何が いちばん すきですか。
39課-1	ひろこさんは 「おねえさんが ほしいです。」と 言いまし た。
39課-2	けんくんは 「ぼうしが ほしいです。」と 言いました。
39課-3	たけしくんは 「とけいが ほしいです。」と 言いました。
40課-1	けんくんは 「うみへ 行きたいです。」と 言いました。ひ ろこさんは 「おばあさんの うちへ 行きたいです。」と 言いました。たけしくんは 「アメリカへ 行きたいです。」と 言いました。
40課-2	けんくんは 「スパゲティが 食べたいです。」と 言いまし た。ひろこさんは 「サンドウィッチが 食べたいです。」 と 言いました。たけしくんは 「ラーメンが 食べたいです。」 と 言いました。
40課-3	たけしくんは 「コーラが 飲みたいです。」と 言いました。 けんくんは 「バナナジュースが 飲みたいです。」と 言いま した。ひろこさんは 「オレンジジュースが 飲みたいで す。」と 言いました。
41課-1	「ボールを とって ください。」
41課-2	「これを みて ください。」

4 1 課- 3	「あした 12 じに 来て ください。」
4 1 課- 4	「本を よんで ください。」
4 1 課- 5	「なまえを かいて ください。」
4 1 課- 6	「手を あらって ください。」
4 1 課- 7	「ドアを 開けて ください。」
4 2 課	ひろさんは えを かいて います。けんくんは ボールで あそんで います。たけしくんは 音楽を 聞いて います。ひろさんのお父さんは ねて います。お母さんと おばあさんは 話して います。トムくんは みずを 飲んで います。トムくんのお母さんは アイスクリームを かって います。お父さんは ジュースを 飲んで います。犬は はしって います。
4 3 課- 1	これは 何ですか。そう、そうですね。この 木の 名前を知って いますか。これは やしです。ぞうは やしの 下に 住んで います。
4 3 課- 2	これは 何ですか。そう、かえるですね。かえるは いけに住んで います。この 花の 名前を知って いますか。すいれんです。いけには すいれんの 花も さいて います。
4 3 課- 3	ぞうは くつを もって います。
4 3 課- 4	けれども このくつは もう小さいです。
4 3 課- 5	ぞうは かえるに くつを あげました。
4 3 課- 6	かえるは くつで あそびました。
4 4 課- 1	「電話を かけても いいですか。」 「はい、いいです。」
4 4 課- 2	「テレビを 見ても いいですか。」 「はい、いいです。」
4 4 課- 3	「この 花を きいても いいですか。」 「はい、いいです。」
4 4 課- 4	「ボールで あそんでも いいですか。」 「いいえ、いけません。」
4 4 課- 5	「まどを 開けても いいですか。」 「はい、いいです。」
4 5 課- 1	「つくえの 上に すわらないで ください。」
4 5 課- 2	「まだ 帰らないで ください。」

4 5 課－3	「きょうしつで おかしを 食べないで ください。」
4 5 課－4	「話さないで ください。」
4 5 課－5	「本を 見ないで ください。」
4 5 課－6	「かいだんで あそばないで ください。」
4 6 課－1	「もう 食べられません。」
4 6 課－2	「飲めません。」
4 6 課－3	「『乗る』の かんじを 書いて ください。」
	「書けません。」 「わたしは 書けます。」
4 6 課－4	「あそこまで 泳げますか。」



絵カードの 使い方



1 課

ね ら い	挨拶（おはようございます）
絵カード	1 課－1 1 課－2 1 課－3 1 課－4

- 「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」の違いをはっきりさせるために3枚の絵を黒板に貼るなどして、同時に提示した方が良いだろう。太陽の位置が変わっていることや、月が出て空が暗くなっていることなどにそれとなく気付かせる。

2 課

ね ら い	自己紹介－名前を言う（わたし／はくは～です。）
絵カード	人物－1（ひろこさん） 人物－2（けんくん） 人物－3（たけしくん） 人物－8（トムくん） 人物－13（たなかせんせい） 人物－14（えみさん）

- 自分の名前を言うことができるようになったら、上記絵カードを使って、教師がテキストの登場人物を紹介する。
- 「だれですか。」というのは、直接相手に聞くより、上記絵カードを使って第三者について聞く方が無難だろう。

3 課

ね ら い	自己紹介－民族や国籍を言う（わたし／はくは～人です。）
絵カード	3 課 人物－1（ひろこさん） 人物－2（けんくん） 人物－3（たけしくん） 人物－8（トムくん） 人物－13（たなかせんせい） 人物－14（えみさん）

- 3課の絵カードで「～人」の概念を提示した後、テキストの登場人物について「ひろこさんは日本人です。」のように話させる。

4 課

ね ら い	1、自己紹介－年齢を言う（わたし／はくは～歳です。） 2、助詞「も」
絵カード	4 課 人物－1（ひろこさん） 人物－8（トムくん） 人物－14（えみさん） 人物－15（しげるくん）

- 4 課の絵カードでひろこさんの家族とその年齢を紹介する。次に、トムくん、えみさん、しげるくんなどの年齢も紹介する。
- 助詞「も」は「ひろこさん」「えみさん」「しげるくん」の絵カードを使い、「ひろこさんは9歳です。」「えみさんも9歳です。」「しげるくんも9歳です。」のように導入する。

5 課

ね ら い	1、自己紹介－身分を言う（わたし／はくは～年生です。） 2、選択疑問（～ですか、～ですか。）
絵カード	5 課 人物－1（ひろこさん） 人物－2（けんくん） 人物－3（たけしくん） 人物－13（たなかせんせい） 人物－14（えみさん） 人物－15（しげるくん）

- 5 課の絵カードによって、先生、～年生を提示。
- 自分について、また上記人物についても話させる。

6 課

ね ら い	事物の一致（これは～です。）
絵カード	6 課－1 6 課－2 6 課－3 6 課－4 6 課－5 6 課－6

- まず一見して何が描いてあるのか分からない 6 課－1 の絵カードの表を見せ、「これは何ですか。」と聞く。生徒に自由に反応させてから、裏に返し、「かさです。」と言う。
- 6 課ではまだ「それ」を学習しないので、「それ」を使わなければならないような位置でカードを使用しないように注意しなければならない。それが避けられない場合は、主語を言わずに「～です。」だけで言わせるのもひとつの方法である。

7 課

ね ら い	事物の不一致（～ではありません。）
絵カード	7 課－1 7 課－2 7 課－3

- 7 課－1 の表を見せ「これはひろこさんですか。」と生徒に質問する。生徒は「はい」と答えるかもしれないし、「いいえ」と答えるかもしれないが、それはそれで良い。生徒の反応を見ながらタイミングよく裏を見せ、「いいえ、ひろこさんではありません。えみさんです。」と導入する。

8 課

ね ら い	指示詞（これ それ あれ）
絵カード	8 課－1 8 課－2 8 課－3

- 「これ」「それ」「あれ」の違いをはっきりさせるため、3 枚の絵を同時に黒板に貼るなどして提示する。
- 実物を遠近に置いて、実際に指して言わせる前に絵で提示した方が分かりやすいだろう。

9 課

ね ら い	所属（これはだれの～ですか。）
-------	-----------------

絵カード	9 課 人物－1（ひろこさん） 人物－2（けんくん） 人物－3（たけしくん） 人物－4（ひろこさんのおとうさん） 人物－5（ひろこさんのおかあさん）
------	--

- あらかじめ5人の人物絵カードを黒板に貼るなどして提示した上で、ひとつひとつの靴について「これはだれの靴ですか。」と聞く。

10 課

ね ら い	所属（これは何の～ですか。）
絵カード	10課－1 10課－2 10課－3 10課－4

- 動物の全体像を描いた絵カード（10課－4）をあらかじめ見せてからひとつひとつの耳について「これは何の耳ですか。」と聞く。

11 課

ね ら い	場所を紹介する。（ここは～です。）
絵カード	11課

- 玄関、台所、おふろば等あまりなじみのない言葉の定着を計るためには、この絵カードだけでは不十分なので、写真教材も用意して提示すると、効果が上がる。

12 課

ね ら い	所在（～はここ／そこ／あそこです。）
絵カード	12課－1 12課－2 12課－3

- 「これ」「それ」「あれ」の時と同様、「ここ」「そこ」「あそこ」の違いをはっきりさせるため、3枚の絵カードを同時に提示する。
- ひろこさんが、猫の所在を聞いていて、トムくんのおかあさんがそれに答えているという場面設定を強調してほしい。そうでないと、「これ／それ／あれは～です。」との違いを学習者に理解させにくい。

13 課

ね ら い	値段を言う（～は～円です。）
絵カード	13課－1 13課－2

- 絵カードを使って、物の値段を聞く前に、日本のお金を紹介、または既知っている学習者だったら確認する。
- 13課－1の絵で、ひとつだけ値段が見えているのは、ここで値段を話題にしているということを分かりやすくするためである。

16 課

ね ら い	名詞的述語の過去形（～でした。／～ではありませんでした。）
絵カード	16課

- この絵カードは、定着のための練習のひとつとして扱ってほしい。

17 課

ね ら い	動作（Vます。）
絵カード	17課－1 17課－2 17課－3 17課－4

- 教師が絵を見せながら、動作をして導入する。

- 生徒がこれ等の動詞が動作性の動詞であるという概念をつかんだら、今度は教師が17課－1（立ちます）の絵を黙って生徒に見せる。生徒は「立ちます。」と言ってから実際に立つ。他の動詞についても同様にする。

18 課

ね ら い	時を表す助詞「に」（～時にVます。）
絵カード	18課－1 18課－2 18課－3 18課－4

- 時間と新しい動詞を一度に入れてこの文型を言わせるのは無理なので、まず動詞だけ十分言えるようにする。次に時間のところを指し「何時ですか。」と生徒に聞き、生徒が「7時です。」等、答えてから初めて「ひろこさんは7時に起きます。」という文型を導入する。

19 課

ね ら い	動作の否定（Vません。）
絵カード	19課－1 19課－2 19課－3

- 1枚の絵を左右に分けて肯定と否定を対比させてある。まず「お母さんは6時に起きますか。」と質問し、「はい、6時に起きます。」と答えさせる。次に「ひろこさんも6時に起きますか。」と質問し、「いいえ、6時に起きません。」の答えを引き出す。

20 課

ね ら い	目的を表す助詞「を」（～をVます。）
絵カード	20課－1 20課－2 20課－3 20課－4 20課－5 20課－6 20課－7 20課－8

- ひろこさんの動作を絵カード20課－1から20課－8まで時間を追って提示する。
17課同様、実際に教師や生徒が動作したり、黙って絵を見せて生徒に言わせるのも良い。

21 課

ね ら い	場所を表す助詞「で」（～でVます。）
絵カード	21課－1 21課－2 21課－3 21課－4

- 初めに21課－4の絵カードで、ひろこさんの家族がそれぞれ違う場所で昼ごはんを食べるということを学習者に気付かせることによって、文型の意味するところを理解させる。時計を指し「今、何時ですか。」昼ごはんを指し「これは何ですか。」「これはだれですか。」「ひろこさんとけんくんです。」「ここはどこですか。」「学校です。」「ひろこさんとけんくんはどこで昼ごはんを食べますか。」「学校で昼ごはんを食べます。」のように導入する。21課－1、21課－2、21課－3の絵についても上と同様に導入する。

22 課

ね ら い	方向を表す助詞「へ」（～へ行きます。）
絵カード	22課－1 22課－2 22課－3 場所－1（えき） 場所－2（がっこう） 場所－4（こうえん） 場所－5（スーパー） 場所－6（デパート） 場所－7（はなや） 場所－8（びょういん）

- 黒板に絵カードを次のように貼って導入する。



場 所 の
絵 カ ー ド



白 紙

左のように場所の絵カードを裏返して「ひろさんはどこへ行きますか。」と言って行き先を当てさせる。

〔 場所の絵カード
裏返し 〕

23 課

ね ら い	動作の完了、過去形（Vました。）
絵カード	23課－1 23課－2 23課－3

- 1 枚の絵カードに動作の未来（Vます。）と完了（Vました。）を対比させた絵が描いてあるので、その違いに注目させる。

24 課

ね ら い	交通手段を表す助詞「で」（～で～へ行きます。）
絵カード	24課－1 24課－2 24課－3 24課－4 24課－5 24課－6 24課－7 場所－1（えき） 場所－2（がっこう） 場所－4（こうえん） 場所－5（スーパー） 場所－6（デパート） 場所－7（はなや） 場所－8（びょういん）

- 人物の上半身と足の絵はそれぞれ切り取り線にそって切って使用する。ひろこさんの上半身、足、交通手段の絵カードを全部黒板に貼る。場所の絵カードを1枚（たとえば学校）を選び、ひろこさんは何で学校へ行くのか生徒に選ばせる。生徒が選んだものが足であったら、上半身と足とを合わせ、「ひろこさんは歩いて学校へ行きます。」の文型を導入する。



- 他の人物や場所を色々組み合わせて、文型練習をする。

25 課

ね ら い	動作の過去形の否定（Vませんでした。）
絵カード	25課－1 25課－2 25課－3 25課－4

- 25課－1と25課－2、25課－3と25課－4で対になっている。25課－1で、まず絵カードの右半分のたけしが教室でいねむりをしていることに注目させる。左半分がその原因なのだが、そこで「たけしくんはきのう、夜、テレビを見ましたか。」「はい、見ました。」というようにQ Aする。次に25課－2の絵カードを提示し、右半分のひろこがいねむりをしないできちんと授業を受けていることに注目させる。そして「ひろこさんはきのう、夜、テレビを見ましたか。」と聞き、「テレビを見ませんでした。」を導入する。25課－3、25課－4の絵カードについても同様に扱う。

26 課

ね ら い	道具の手段を表す助詞「で」（～でごはんを食べます。）
絵カード	26課－1 26課－2 26課－3

- 導入は、おはし、ナイフ、フォーク、スプーンなどの実物を使う。絵カードは定着のために使う方が効果的である。

27 課

ね ら い	物の授受などの行為の相手を表す助詞「に」（～に手紙を書きます。）
絵カード	27課－1 27課－2 人物－4（ひろこさんのおかあさん） 人物－5（ひろこさんのおとうさん） 人物－6（ひろこさんのおばあさん） 人物－7（ひろこさんのよこはまのおばあさん） 人物－9（トムくんのおとうさん） 人物－10（トムくんのおかあさん） 人物－13（たなかせんせい） 人物－14（えみさん） 人物－15（しげるくん）

- まず、「手紙を書きます。」「電話をかけます。」を導入し、十分言えるようになったところで、27課－1の絵カードと人物絵カードを組み合わせ、「ひろこさんは～に手紙を書きます。」を導入する。以下次々に人物絵カードを差し替えて口頭練習をする。

28 課

ね ら い	物の授受（～にあげます。～にもらいます。）
絵カード	28課－1 28課－2

- 28課－2の絵カードを切り取り線にそって切っておく。それを1枚ずつ、28課－1の絵のひろこさんの手のあたりに合わせて置き、「トムくんのお母さんはひろこさんに～をあげました。」「ひろこさんはトムくんのお母さんに～をもらいました。」と練習する。

29 課

ね ら い	い形容詞の修飾用法（大きい靴）
絵カード	29課－1 29課－2 29課－3

- 30課の文型との兼合いを考えて、この課では「これはどんな犬ですか。」「大きい犬です。」というQ Aにし、「これは大きい犬ですか。」「はい、大きい犬です。」「いいえ、小さい犬です。」というQ Aは避けたほうが良い。そうしないと、30課の「～は大きいです。」「～は大きくないです。」の文型と混同する恐れがある。
- 形容詞の概念をはっきりさせるために、「赤いかばん」「赤い靴」「赤いかさ」「赤い花」とか、「古いハンカチ」「古い家」「古い自動車」など実物や写真を用意した方が良い。

30 課

ね ら い	い形容詞の叙述用法（～は高いです。）
絵カード	30課－1 30課－2 30課－3 30課－4 30課－5 29課－2 29課－3

- 30課の絵カードを使っの口頭練習の後、更に29課－2、29課－3の絵カードも使って練習する。

31 課

ね ら い	い形容詞の過去形（～はやさしかったです。）
絵カード	31課

- この絵カードは記憶力ゲームに使う。この絵を少しの間生徒に見せ、すぐに伏せ

る。そしてこの絵に関して質問をひとつする。「女の子の靴は赤かったですか。」等（リスト参照）。生徒は「はい、赤かったです。」または「いいえ、赤くありませんでした。」と答える。全員に答えさせたところで絵を見せ、生徒の答えが正しかったかどうかを確認する。再び絵を伏せ、更に別の質問をする。同じように色々な質問をしてゲームを続ける。

32 課

ね ら い	な形容詞修飾用法（元気な子供）
絵カード	32課－1 32課－2 32課－3 32課－4

- 絵カードを1枚ずつ見せて「元気な子供」「親切な人」と導入した後、32課の4枚の絵カードを黒板に貼り、それぞれの絵に「元気なこども」「しんせつな人」「しずかなへや」「きれいな手」と板書して、いずれにも「な」が付くことを気付かせる。又、29課の絵カードと対比させて、「な」が付くグループと「い」が付くグループがあることを分からせる。

33 課

ね ら い	な形容詞叙述用法（～は静かです。）
絵カード	33課－1 33課－2 33課－3 32課－1 32課－2 32課－3 32課－4

- 32課の絵カードと33課の絵カードを対比させて、「この人は親切ですか。」「はい、親切です。」（32課－2）「いいえ、親切ではありません。」（33課－2）というように練習する。
- 29課、30課の、い形容詞の絵カードも使用し、な形容詞との叙述用法の否定形の違いを確認させてから、混同しないように反復練習する。

34 課

ね ら い	好き、嫌いを言う（～が好きです。）
絵カード	34課－ 1 34課－ 2

- 34課－ 1 と34課－ 2 の絵カードを同時に提示し、ひろこさんの表情に注目させ、「好き」「好きではありません。」の意味を理解させてから、「ひろこさんは勉強が好きですか。」「はい、好きです。」「ひろこさんはへびが好きですか。」「いいえ、好きではありません。嫌いです。」と導入する。

35 課

ね ら い	上手、下手を言う（～が上手です。）
絵カード	35課－ 1 35課－ 2

- 絵カードでは歌についてだけ上手、下手を言っているので、上手な字、下手な字、上手な絵、下手な絵など他の物も色々準備して導入してほしい。

36 課

ね ら い	物、人、動物などの所在（～は～にいます。／あります。）
絵カード	36課 人物－ 1 （ひろこさん） 人物－ 2 （けんくん） 人物－ 3 （たけしくん） 人物－ 4 （ひろこさんのおとうさん） 人物－ 5 （ひろこさんのおかあさん） 人物－ 6 （ひろこさんのおばあさん） 人物－ 8 （トムくん）

- 36課の家の絵を黒板に貼るなどして生徒に見せる。次に人物の絵カードを 1 枚出す。たとえばお母さんの絵カードを出したら、お母さんはどこにいるのか探しているジェスチャーをする。そして「お母さんはどこにいますか。」「お母さんは台所にいます。」という質問と答えを引き出す。

- 人物だけでなく、電話、テレビ、自転車、時計、自動車、ねこ等の絵カードもできれば用意して人物と同様にどこにあるのか聞く。絵カードが用意できない場合は、文字カードにして、文字の復習も兼ねながらするのも良い。

37 課

ね ら い	位置詞（上、中、下、前、後ろ）
絵カード	37課

- おばあさんが物を探していて、ひろこさんがその場所を教えているという設定でこの絵を使ってほしい。

38 課

ね ら い	比較（～と～とどちらが～ですか。）
絵カード	38課－1 38課－2 38課－3 38課－4 38課－5

- 新出の「重い」「速い」「多い」は、教科書の絵、または実物などでまず意味を提示してから、38課の絵カードを使ってこの文型を導入する。

39 課

ね ら い	欲求、希望（～がほしいです。）
絵カード	39課－1 39課－2 39課－3

- 39課－1の絵については、左半分の絵で、ひろこさんにお姉さんがいないことを確認する。つまり「ほしい」は、現在満たされていないものについて言わなければならないということを理解させ、右半分の絵で「ほしい」を導入する。
- 39課－2の絵はひろこさんという第三者が描かれているので「ひろこさんはお姉

さんがほしいです。」とは言えない。従って必ず「ひろこさんは『お姉さんがほしいです。』と言いました。」という形を使う。39課－2、39課－3についても同様に扱う。

40 課

ね ら い	欲求、希望（Vたいです。）
絵カード	40課－1 40課－2 40課－3

○ 39課と同様に必ず「ひろこさんは『～』と言いました。」の形を使う。

41 課

ね ら い	依頼（Vてください。）
絵カード	41課－1 41課－2 41課－3 41課－4 41課－5 41課－6 41課－7

○ ひとつひとつの絵について「だれがボールを取りますか。」「だれが本を読みますか。」等、どちらの人が動作をするか確認しながら文型を導入することが必要だろう。

42 課

ね ら い	動作の進行（Vています。）
絵カード	42課

○ 絵カードを黒板に貼る。「今、何時ですか。」と現在の時刻を生徒に聞き、答えさせ、その時刻を絵の横に書いて、この絵が今、現在の様子であることを示す。それによってこの絵が動作の進行を表していることを伝える。

43 課

ね ら い	状態（持っています。住んでいます。知っています。）
絵カード	43課－1 43課－2 43課－3 43課－4 43課－5 43課－6

- この6枚の絵カードは、簡単なストーリーのようにになっているのだが、紹介する時も、教師側が一方的に話すのではなく、常に生徒に質問して、生徒が分かっているかどうかを確認しながら進めてほしい。
- 何回か繰り返した後、生徒にも話させる。

44 課

ね ら い	許可（Vでもいいですか。）
絵カード	44課－1 44課－2 44課－3 44課－4 44課－5

- この課の絵カードは、「許可を求める人」と「許可を求められている人」との対話が描かれているので、導入の際は絵カードの中の話している方の人物を指で差しながら導入してほしい。

45 課

ね ら い	不許可（Vないでください。）
絵カード	45課－1 45課－2 45課－3 45課－4 45課－5 45課－6

- 絵の中の子供を学習者の友達と想定し、絵の中の子供に注意を与えるという形で行う。たとえば「つくえの上にすわらないでください。」というように。

46 課

ね ら い	可能（Vれます。／られます。）
絵カード	46課－1 46課－2 46課－3 46課－4

- 絵カードで可能の概念を理解させたら、既習動詞のフラッシュカードで絵カード以外の動詞の可能形を定着させる。